

南会津町の湿原を守る会 たより

第13号
2019年
5月21日
発行

平成27年9月の関東東北豪雨で駒止湿原へのアクセス道路は何箇所も流されました。特に針生側は被害が大きく、復旧工事は今年も続いています。南郷側のアクセス道路は比較的被害が少なく、保護協議会などが行う湿原内の監視や有害鳥獣のモニタリングは、南郷側より入山し行われてきました。入山規制の中、2年前より土日を中心にシャトルバスが運行され、駒止湿原案内の皆さんの案内人付散策が行われてきました。特にワタスゲが綿をつける6月には多くの湿原ファンが訪れました。今年度も、みなみやま観光さんがシャトルバスを計画しているようです。

平成30年度は、平成29年秋に植樹したブナの生長の調査を行いました。今後も地道な調査をつづけ、研究の結果をまとめていきます。



ブナの生長を見守りデータをとる

駒止湿原周囲の開拓地は、戦前戦後の食糧難のためにブナ林は伐採され、大根やそばなどが栽培されてきた土地。荒れて萱が繁茂し土壌は硬く透水性も不良な土地であったため樹木がなかなか生えませんが、駒止湿原への影響が懸念されるなか、これまでブナ林の回復や景観の保全のために、自治体や多くの団体がブナの植樹を行ってきました。当会でも全面的に協力し、植樹を行ってきました。30年度は植樹した幼木の生長を毎月調査し生長過程を観察記録する事を決定。毎月調査を行い、季節による生長の違いや特徴をまとめていきます。



2018年7月6日 駒止湿原周囲開拓農道と駐車場の外来種植物除去作業

東北電力田島電力センターの所員を含め17人が参加しました。ブタクサやシオン、セイヨウタンポポなどを多く除去。毎年行っている為、少しずつ減ってきました。



2018年度 研修&散策
6月30日 桑折町半田沼へ
半田沼や半田銀山の歴史について半田山愛草会の会員から説明を受け、半田沼を1周。緑の沼にも感激しました。隣接するシラネアオイ群生地では種が盗難にあった状況を聞き、自然を保全するための努力と苦勞を知りました。



(1) 第38号 会津地区電気工事安全協会会報 平成31年1月27日

会津 どんゆう

発行所
会津地区電気工事安全協会
発行責任者 前川 修一
会津若松市東栄町3番38号



「低層から高層までの植物が観察できる湿原 駒止湿原」

昭和村と南会津町の田代山、田代山麓の境界付近に位置しており、ブナ林に囲まれた標高1100mほどの高原にある平原状の湿原です。緩傾斜地が連続してあり、面積は約150haで国の天然記念物に指定されています。大谷地、白樺谷地、水無谷地の三湿原が代表的で、水生植物が豊富で出来た泥炭層は国内でも有数の古さを誇るとされています。雪解けとともに水蒸気が湧き出し、ワタスゲ、ニッコウキスゲと次々に多くの花が湿原を彩ります。また、秋になるとブナの葉がすばらしい景色をみせてくれます。大谷地は三湿原の中で一番大きな湿原で、本道を進むにつれ徐々に低層湿原、中間湿原、高層湿原と変化し多くの湿原の植物を楽しむことができます。中間湿原付近には白い仏炎包が二枚からなる双苞の珍しい水芭蕉も見られます。【ブナ林の遊歩道について】 大谷地から南会津側へ戻るルートは、開拓農地跡の中の農道を通り、その先にはブナ林が広がっています。この広大な素晴らしいブナ林の中を歩いて、環境学習に活用しようとして、平成29年からは森林環境税を活用した遊歩道の設置が始まりました。この遊歩道は、平成31年から通行可能となります。【山方法について】 平成27年の関東・東北豪雨災害による土砂崩れにより災害復旧工事中で、現在は入山規制がされています。平成29年からは、従来の入口の反対側の「南郷口」から、期間限定で、ガイド付きのプレミアムシャトルバスが運行しております。詳しくは南会津町観光物産協会 TEL:0241-621-3000 にお問い合わせください。またシャトルバスについては「みなみやま観光」TEL:0120-915-221へご確認ください。

東北電力では会津地区への情報誌の表紙に駒止湿原を掲載。



「駒止湿原ブナ林環境学習の森」遊歩道「針生駒止の森ぶなっこ遊歩道」に決定

駒止湿原に隣接するブナ林では「駒止湿原ブナ林環境学習の森」の有歩道の整備が行われています。針生区の協力により土地をお借りし、町が森林環境税を活用し整備しました。当会が提案したプロジェクトでもあります。名称も募集した中から組み合わせ、決定しました。今後はこの森を活用した環境学習や観察を行う予定です。詳細が決定しだい通知します。

ニュース! 駒止湿原アクセス道路 今年度(2019年)秋に再開予定 開通の正式なお知らせは南会津町HP、または昭和村HPから。5月～シャトルバスでの入山は可能!2500円 高清水公園ひめさゆり群生地や宮床湿原、田代山などへのシャトルタクシープランも充実。ぜひお問い合わせください。 みなみやま観光 0241-62-2250 0120-915-221

編集後記

5月1日から始まった新元号「令和」。令のつくりは人が集まって話をする(聞く)、という意味を持つそうです。皆が集まり話を聞き知恵を出すことが地域の力となることに感じました。当会も自然を見て感動し、皆で保全しよう!という話し合いが発展し、楽しみながら活動が出来ることを願っています。4月と5月、南会津を良く走ると言うサイクリストに会いました。これまで何度も駒止峠や南郷スキー場から昭和村へ抜ける道をよく走ったそうです。「裏道や峠がたくさんある南会津」と奥会津は季節ごとに自然が変わり、走るたびにワクワクする。駒止峠が開通するのも楽しみ」と話していました。今年(2019)はブナ林内での学習会や、秋の駒止湿原ウォークも予定しています。ご参加をお待ちしています。

令和元年5月21日 事務局 阿部徳子